



【先週 2月2日～2月8日の外食の出来事】

■ワタミ、中国直営全7店閉鎖 新型肺炎で売り上げ激減

ワタミは中国で展開する居酒屋「和民」の直営全7店を閉店する。4日夕に現地に通達した。新型コロナウイルスによる肺炎の影響で客足が激減し、1店あたり40万～50万円あった1日の売り上げが20分の1程度になっていた。

■松屋フーズ、純利益43%増 4～12月 客数・単価とも堅調

2019年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比43%増の26億円だった。牛井店「松屋」は期間限定商品「ごろごろ煮込みチキンカレー」などが好評で、既存店売上高は前年同期を上回り、人件費の上昇を補った。

■大戸屋、加工品活用で業績回復へ 人手不足対策で

定食チェーン大戸屋は、人手不足に対応するためカット野菜などの加工品も活用し、業務効率を上げる方針だ。食事の提供時間を早めて客の満足度を上げる狙いもあり、値上げの影響で低迷する業績の回復を目指す。

■串カツ田中、1月既存店売上17%増。10ヶ月連続マイナスから急回復。

串カツ田中が、2020年1月の月次実績を発表した。直営既存店では客数15.1%増、客単価2.0%増となり、売上高17.4%増。2019年4月から既存店は10ヶ月連続でマイナスが続いていたが、急激な伸びとなった。

■スシロー、ドバイ万博に出店 中東にも回転寿司を

2020年ドバイ国際博覧会に、日本政府が出展する「日本館」のレストランとして、スシローが決まった。回転寿司を代表的な日本食として中東や世界に発信する。来場者見込みは約2500万人。

■サンマルクHD、第3四半期(2019年4月～12月)の連結業績 増収減益

2020年3月期 第3四半期の連結業績は売上高532億6000万円(対前年同期比1.8%増)、営業利益41億2200万円(同13.1%減)、経常利益42億1800万円(同12.5%減)、四半期純利益22億5300万円(同6.5%減)。

■マクドナルド、50ヶ月連続で既存店売上プラス ネットは尽きない

マクドナルドが1月で既存店売上高プラスが50ヶ月連続。客数1.5%増、客単価1.0%増で、既存店売上高2.6%増。木村拓哉さんをテレビCMに起用したり、ごはんバーガーを期間限定販売するなど、話題に事欠かない。

■ぐるなび、楽天ポイント効果で営業利益24%増 ネット予約のサービス売上は3割増

2020年3月期第3Q実績は売上高234億31百万円、4.4%減、営業利益13億97百万円、24.3%増。ネット予約件数が増え、増益につながった。2018年10月からの楽天ポイントとの連携効果がめきめき表れている。

■スシロー 10～12月増収増益、既存店売上が好調

2020年9月期第1四半期決算によると、売上収益557億3800万円(前年同期比14.8%増)、営業利益48億3700万円(18.3%増)、税引前利益46億9300万円(16.5%増)、当期利益30億3100万円(19.9%増)となった。